

# Markdown記法 サンプル集

tbpgr

## Markdown記法 サンプル集

### 見出し

1個から6個シャープで**見出し**を記述する。 ※シャープと見出し文字の間には半角スペースを1つ入れること

#### 記述例

```
# 見出し1
## 見出し2
### 見出し3
#### 見出し4
##### 見出し5
##### 見出し6
```

#### 表示例

## 見出し1

### 見出し2

#### 見出し3

#### 見出し4

#### 見出し5

#### 見出し6

### 箇条書きリスト

ハイフン、プラス、アスタリスクのいずれかで箇条書きリストを記述可能。＊ハイフン、プラス、アスタリスクと箇条書きの項目の間には半角スペースを1つ入れること

## 記述例

- リスト1
  - ネスト リスト1\_1
    - ネスト リスト1\_1\_1
    - ネスト リスト1\_1\_2
  - ネスト リスト1\_2
- リスト2
- リスト3

## 表示例

- リスト1
  - ネスト リスト1\_1
    - ネスト リスト1\_1\_1
    - ネスト リスト1\_1\_2
  - ネスト リスト1\_2
- リスト2
- リスト3

## 番号付きリスト

数値+半角ドットで番号付きリストを記述可能。番号の内容は何でもいい。実際に表示される際に適切な番号で表示される。そのため、一般的にはすべて1.内容で記載すると変更しやすく楽です。＊数値+半角ドットと箇条書きの項目の間には半角スペースを1つ入れること

## チェックリスト

- これからやるタスク
- 完了したタスク z

## 記述例

1. 番号付きリスト1
  1. 番号付きリスト1\_1
  1. 番号付きリスト1\_2
1. 番号付きリスト2
1. 番号付きリスト3

## 表示例

1. 番号付きリスト1
  1. 番号付きリスト1\_1
  2. 番号付きリスト1\_2
2. 番号付きリスト2
3. 番号付きリスト3

## 引用

- > お世話になります。xxxです。
- >
- > ご連絡いただいた、バグの件ですが、仕様です。

## 表示例

```
お世話になります。xxxです。
ご連絡いただいた、バグの件ですが、仕様です。
```

## 二重引用

### 記述例

- > お世話になります。xxxです。
- >
- > ご連絡いただいた、バグの件ですが、仕様です。
- >> お世話になります。 yyyです。
- >>
- >> あの新機能バグってるっすね

## 表示例

```
お世話になります。xxxです。
ご連絡いただいた、バグの件ですが、仕様です。 > お世話になります。
yyyです。 > > あの新機能バグってるっすね
```

## pre記法(スペース4 or タブ)

半角スペース4個もしくはタブで、コードブロックをpre表示できます

### 記述例

```
# Tab
class Hoge
    def hoge
        print 'hoge'
```

```
end
end
```

---

```
# Space
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```

## 表示例

```
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```

---

```
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```

## code記法

バッククォートで文字列を囲むことでコードの一部を表示可能です。

## 記述例

インストールコマンドは `gem install hoge` です

## 表示例

インストールコマンドは `gem install hoge` です

## 強調：<em>

アスタリスクもしくはアンダースコア1個で文字列を囲むことで強調します。見た目は斜体になります。

## 記述例

```
normal italic normal
```

normal *\_italic\_* normal

## 表示例

normal *italic* normal normal *italic* normal

## 強調：<strong>

アスタリスクもしくはアンダースコア2個で文字列を囲むことで強調にします。  
見た目は太字になります。

## 記述例

normal **\*\*bold\*\*** normal

normal **\_\_bold\_\_** normal

## 表示例

normal **bold** normal normal **bold** normal

## 強調：<em> + <strong>

アスタリスクもしくはアンダースコア3個で文字列を囲むことで <em> と  
<strong> による強調を両方適用します。見た目は斜体かつ太字になります。

## 記述例

normal **\*\*\*bold\*\*\*** normal

normal **\_\_\_bold\_\_\_** normal

## 表示例

normal ***bold*** normal normal ***bold*** normal

## 訂正

これは 訂正 です。

## 水平線

アンダースコア、アスタリスク、ハイフンなどを3つ以上連続して記述することで水平線を表示します。 ※連続するハイフンなどの間にはスペースがあっても良い

## 記述例

\*\*\*

---

---

\* \* \*

## 表示例

---

---

---

## リンク

[表示文字] (リンクURL)形式でリンクを記述できます

[Google先生] (<https://www.google.co.jp/>)

[Google先生](https://www.google.co.jp/)

## 定義参照リンク

Markdownの文書の途中に長いリンクを記述したくない場合は、同じリンクの参照を何度も利用する場合は、リンク先への参照を定義することができます。

[こっちからgoogle] [google]

その他の文章

[こっちからもgoogle] [google]

[google]: <https://www.google.co.jp/>

[こっちからgoogle](#) [その他の文章](#) [こっちからもgoogle](#)

## GitHub Flavored Markdown(GFM)

GitHub Flavored Markdown(GFM)はGitHubの独自仕様を加えたMarkdown記法。以降、GFMと記載します。

## GFM: リンクテキスト簡易記法

URLは記述するだけで自動的にリンクになります。

## 記述例

`https://www.google.co.jp/`

### 表示例

`https://www.google.co.jp/`

## GFM:取り消し線

チルダ2個で文字列を囲むことで取り消し線を利用できます。

### 記述例

`~~取り消し線~~`

### 表示例

取り消し線

## GFM:pre記法(チルダ×3)

### 記述例

```
~~~  
class Hoge  
  def hoge  
    print 'hoge'  
  end  
end  
~~~
```

### 表示例

```
class Hoge  
  def hoge  
    print 'hoge'  
  end  
end
```

## GFM:pre記法(バッククォート×3)

### 記述例

```
...  
class Hoge  
  def hoge
```

```
    print 'hoge'
  end
end
...
```

## 表示例

```
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```

## GFM:pre記法(シンタックスハイライト)

チルダ、もしくはバッククォート3つの後ろに対象シンタックスの言語名を記述します。

## 記述例

```
~~~ruby
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
end
~~~
```

## 表示例

```
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```

## GFM:表組み

### 記述例

```
|header1|header2|header3|
|--|---|:--:|
|align left|align right|align center|
|a|b|c|
```

### 表示例



---

| header1    | header2     | header3      |
|------------|-------------|--------------|
| align left | align right | align center |
| a          | b           | c            |

---

## GFM: ページ内リンク

GitHubのMarkdownを利用すると、見出し記法を利用した際にアンカーが自動的に作成されます。そのアンカーを利用したページ内リンクを簡単に作成できます。

```
## menu
* [to header1](#header1)
* [to header2](#header2)

<!-- some long code -->

[return to menu](#menu)
### header1
### header2
```

少し省略してますが、こんなかんじのHTMLになります。

```
<h2><a name="user-content-menu" href="#menu">menu</a></h2>
<a href="#header1">to header1</a>
<a href="#header2">to header2</a>

<!-- some long code -->

<a href="#menu">to menu</a>
<h3><a name="user-content-header1" href="#header1">header1</a></h3>
<h3><a name="user-content-header2" href="#header2">header2</a></h3>
```

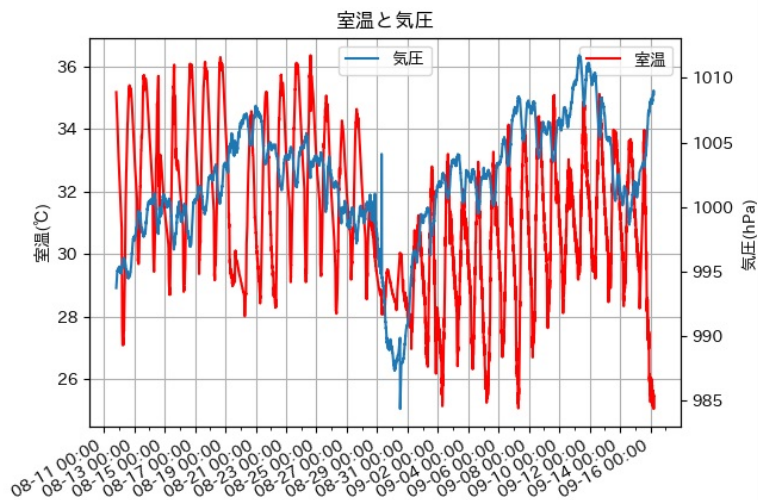
## 表

---

| TH(左寄) | TH(中央)      | TH(右寄) |
|--------|-------------|--------|
| TD     | TD<br>改行します | TD     |
| TD     | TD          | TD     |

---

## 添付ファイル



室温と気圧

## 水平線

## 注釈 [NG!]

この引用は<sup>[^1]</sup><sup>[^1]</sup>: [〇〇](#)を参照しています。と注釈を入れられる。

## PlantUML記法 [NG!]

```
Alice -> Bob: Authentication Request
Bob --> Alice: Authentication Response
```

```
Alice -> Bob: Another authentication Request
Alice <-- Bob: another authentication Response
```

```
Alice -> Bob: Authentication Request
Bob --> Alice: Authentication Response
```

```
Alice -> Bob: Another authentication Request
Alice <-- Bob: another authentication Response
```

## 数式 [NG!]

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

## 参照

QiitaでのMarkdownの使用について Qiitaの目次生成機能について